

国民健康保険

■命に関わる病気を予防するために健診を受診しましょう

●重症化すると怖い生活習慣病

糖尿病・高血圧症・脂質異常症に代表される「生活習慣病」は、自覚症状のないまま進行し、見た目では分からないことが多いという特徴があります。

さらに、生活習慣病が悪化し脳こうそくや心筋こうそくなどの命に関わる病気を発病した後、介護が必要な状態となるケースが増えています。

●生活習慣病の悪化で介護状態へ

本町の介護保険認定者のうち、生活習慣病の持病がある人の割合を見てみると、高血圧症が半数以上、心疾患の人が6割以上いることが分かります。(平成27年3月受診状況により)

また、同規模市町村(人口が1万人〜1万5,000人未満)の平均と比べ、高血圧症・脂質異常症・心疾患の人の割合が高く、生活習慣病の悪化により、要介護状態になった人が多いことが分かっています。

生活習慣病は、介護給付費が高くなる要因の1つであり、これ以上医療費や介護給付費の負担を増やさないためにも生活習慣病の予

防が重要です。

■健診を受診して元気で健康な生活を送りましょう

町では、生活習慣病予防のために、特定健診の受診を勧めています。受診後の健診結果から自覚症状に現れない健康状態を保健師が分かりやすく解説し生活習慣を正すアドバイスをします。それにより脳こうそくや心筋こうそくといった重症化によって入院し、要介護状態になるということを防ぐことができます。

また、健診を受け、生活習慣病を予防することで、1人ひとりの病気や介護に掛かる費用の負担も減らすことができます。

元気で健康な生活を送るために、年に1度は必ず健診を受け、自分の健康状態を確認しましょう。

■介護保険認定者で生活習慣病の持病がある人の割合(平成27年3月受診状況により)

	甲佐町	同規模市町村 平均値
糖尿病	17.6%	19.3%
高血圧症	55.9%	49.8%
脂質異常症	29.3%	23.8%
心疾患	62.5%	56.6%
脳疾患	26.5%	26.4%

国民年金

■国民年金は支え合いの制度

国民年金は、年を取ったときやいざというときの生活を、現役世代のみんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

具体的には、若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、年を取ったときや病気やけがで障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができます。

国民年金は、20〜60歳の人が加入し保険料を納める制度です。国が責任を持って運営するので安定していますし、年金の給付は生涯に渡って保障されます。

年金は年を取ったときの老齢年金のほか、病気や事故で障害が残ったときに受け取れる障害年金や、加入者が死亡した場合、その

新成人の皆さんへ
20歳から国民年金



国民年金は支え合いの制度です

加入者により生計を維持されていた遺族(子のある配偶者や子)が受け取れる遺族年金もあります。

■保険料の納付猶予制度

●「学生納付特例制度」
学生の人は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予される制度です。

対象者は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校(修業年限1年以上である課程)、一部の海外大学の日本分校に在学する人です。

●若年者納付猶予制度

学生でない30歳未満の人で、本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に、保険料の納付が猶予される制度です。

国民年金のご相談・手続きについては、町住民生活課または熊本東年金事務所にお問い合わせください。

▼お問い合わせ先

町住民生活課
096・234・1113
(内線104)

熊本東年金事務所
klg106@town.kosa.lg.jp
096・367・2503

町住民生活課 ☎ 096-234-1113(内線 106) ✉ klg204@town.kosa.lg.jp

町住民生活課 ☎ 096-234-1113(内線 104) ✉ klg106@town.kosa.lg.jp

産業後継者育成対策協議会

「ふれあい交流会」で新しいカップルが誕生



男女ペアになりマス釣り体験で楽しく交流

■「ふれあい交流会」を開催

甲佐町産業後継者育成対策協議会（宮本修治会長）では、独身男女の皆さんの出会いの場を提供し、結婚活動を応援しています。

12月13日（日）、熊本市西区の柿原養鱒場で第3回ふれあい交流会を開催し、33〜45歳の独身男女12人が参加しました。

男女ペアでマス釣り体験や散策などで1日ゆつくりと交流をした結果、2組のカップルが誕生。参加した男性は「楽しかったです。次回も参加して積極的に行動したいです」と話しました。

●第4回「ふれあい交流会」のご案内

- ・開催日 2月14日（日）
- ・会場 火の君文化センター（熊

本市南区）

・対象者 20〜49歳までの独身男女各10人ずつ

バレンタイン料理作りやゲームなどで交流します。初めて参加する人も料理が苦手な人も安心して楽しめる企画です。

■「I&愛」に登録しませんか

あなたも「I&愛（アイアイ）」に登録して、出会いのチャンスをつかんでみませんか。

登録者には事前に交流会などのご案内をし、相談員や事務局が独身の皆さんのサポートをします。まずはお気軽にご相談ください。

●現在の登録者数

男性13人・女性28人（随時更新）

●登録対象者

20〜49歳の独身男女

※男性は町内在住者に限りません。

▼お申し込み・お問い合わせ先
甲佐町産業後継者育成対策協議会事務局（町産業振興課内）

「ふれあい交流会」専用ダイヤル
TEL 080・1705・5339
（事務局・藤本）

「ふれあい交流会」専用メール
✉ kosa_hu-kouryukai@docomo.ne.jp

男女共同参画

■男女共同参画社会に関する本のご紹介

●『小説 土佐堀川』（古川智映子著）

NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」の原案であるこの本は、幕末期に活躍した実在の女性をモデルに描かれています。

混乱する時代の中で、簿記や算術などを独学で学び、炭鉱、銀行、女子大、生命保険会社など苦勞をしながらもさまざまな事業を成功に導くサクセスストーリーです。

ドラマの中では、伏線として姉が対比的に描かれています。置かれた立場は違いますが、幸せをつかんでいく様子は、男女共同参画

社会のあるべき姿を示しているように感じます。

男女共同参画というと、主人公のようなバリバリ働くキャリアウーマンのみを取り上げられがちですが、本来は男女に関わらず「選択肢がある」ことです。

専業主婦（夫）も認められるべきだし、働きたいと思ったときには状況に応じた働き方ができる社会が、私たちが目指している男女共同参画社会です。

制作者は、主人公が残している「男性は最終的には拳を上げて決着をつけたがる。そんな時代だからこそ、これからは女性の柔らかな力が必要なんです」という趣旨の言葉に、先進的な言葉を明治から大正初期にすでに発していた女性に驚き、このドラマの中で訴えたいと思ったそうです。（潮出版社『九転十起』広岡浅子の生涯より）

ドラマの中では、成功は女性自身の奮闘だけでなく、周囲の理解や協力が必要だということも随所で感じることが出来ます。

単なる女性一代記として見るのではなく、込められたメッセージを感じながら見ると、もっと楽しめるのではないのでしょうか。

男女が働き方を自由に
選べる社会を目指して



町生涯学習センターで借りることができます

町産業振興課 TEL 096-234-1176（内線 155） ✉ klg207@town.kosa.lg.jp

町総務課 TEL 096-234-1140（内線 222） ✉ klg202@town.kosa.lg.jp